













































全学共通・教養科目

科目コード	14003		区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアデザインⅡ〔公務員〕		担当者名	森 利治			○		
配当年次	3	配当学期	後期	単位数	1	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

このキャリアデザインⅡ（公務員）は体育学科、教育経営学科、現代経営学科に在籍している公務員就職を希望する学生対象の講義である。このクラスでは公務員就職を希望し、公僕として働くことの意義を実際に各種公務員として働くためにどんな職種の公務員があるのか、それはどのような業務をするのかを知ることでありたい職種を前期で絞ったうえで、警察官、消防士、自衛官、市役所、県庁職員など実際現場で活躍されている方などをお招きして実際の業務を生講義していただき、学生が調べてきたことと実際との相違を学び、4年生から始まる本試験に向

<授業の到達目標>

1. 公務員採用試験に合格するために、キャリアデザインⅠで取り組んだ自己分析をもとに集団面接形式での実践演習を行い、実際の面接試験に向けての動機付けになるようにする。2. 各職種で活躍されている外部講師の方からの講話、合格を勝ち取った先輩方の体験談を聴いて、自分の進みたい道に対するの覚悟を決め受験に対するモチベーションを高める。

<授業の方法>

講義、講演会、論文対策、模擬面接などの形式で実施する。

<準備学習等（予習・復習）>※具体的な内容及びそれに必要な時間等

予習：模擬面接や論文課題をする際に、事前に課題を与え個別に調べさせ所定用紙に準備させる（1時間程度）。復習：講演会の場合は振り返りレポートを提出させる（30分程度）。

<卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連>

この授業は、教養科目のディプロマポリシー6（自律や社会性等に関する態度・指向性）と関連付けられている。3年次後期に仕事についての意義を学び、4年次に本試験に合格できることを目的とする。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

単元別レポート70%、授業に取り組む姿勢30%

<教科書>

<参考書>

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	後期の目標を設定する	志望先を考える。勉強と部活動、アルバイトなどとのバランスについてスケジュールを立てる。
2	実践演習（1）	面接試験について（集団面接①）
3	講話「現場が求める人材」（1）	消防士の仕事内容（1）
4	実践演習（2）	面接試験について（集団面接②）
5	講話「現場が求める人材」（2）	地方の警察官の仕事内容について
6	合格の秘訣を探る（1）	公務員試験合格者の体験談（1）
7	実践演習（3）	面接試験について（集団面接③）
8	講話「現場が求める人材」（3）	刑務官の仕事内容について
9	合格の秘訣を探る（2）	公務員試験合格者の体験談（2）
10	講話「現場が求める人材」（4）	県職員の仕事内容について
11	合格の秘訣を探る（3）	公務員試験合格者の体験談（3）
12	講話「現場が求める人材」（5）	自衛官の仕事内容について
13	講話「学長講話」	本試験まであと三か月、追い込み時期を乗り切るために学長先生から学生にメッセージをいただく。
14	講話「現場が求める人材」（6）	市職員の仕事内容について
15	講話「現場が求める人材」（7）	消防士の仕事内容について（2）

全学共通・教養科目

科目コード	14003		区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアデザインⅡ[教職]		担当者名	太田 昌孝、中野 隆重、 坂根 清貴、赤松 敏之、 浅野 幹也、奥山 優、 延原 まどか、千葉 照久、 安井 正郎			○		
配当年次	3	配当学期	後期	単位数	1	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

このキャリアデザインは、子ども発達学科、教育経営学科、体育学科に在籍している教員を希望する学生対象である。このクラスでは、教員を選択し、働くことの意義や自己理解を深める中で、教員になるために必要な資質や能力を養い、将来の生き方について考えさせるとともに、教員採用試験合格を目指して、必要な取組について指導を行う。学習成果については、論理的思考力、表現力、協働性、教職への熱意などについて評価する。

<授業の到達目標>

1 教員を選択した意思を明確にし、その職に進むために必要な資質や能力を高めることができる。2 自己理解を深め、将来の生き方について考えることができる。3 教員採用試験合格を目指して、必要な取組を理解し、日常の実践に生かすことができる。

<授業の方法>

・講話を通して、課題の提示や説明。・課題についてのグループワーク。・課題についての演習。・レポートの提出。

<準備学習等（予習・復習）>※具体的な内容及びそれに必要な時間等

・予習：学習予定表に沿って、次回の内容にかかわる関連資料の收取等の事前学習をし、課題意識をもって授業に臨めるようにする。（1時間程度）  
・復習：各回の講座の内容について、個人またはグループでの自主学習において復習し、講義毎のワークシートの追加記入等のノート整理を進めることができるようにする。（30分から1時間程度）

<卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連>

この科目は、教養科目ディプロマポリシー⑥、⑦と関連付けられている。「高い専門性と実践力のある教師」を育成するための教養科目であり、教職を目指す意思を固める時期の3年生を対象として、教育公務員として勤務するにあたっての認識と社会性に関する態度（DP6）、教師としての生涯にわたって学び続ける態度（DP7）を養うための科目である。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

受講態度 30%、講義内での課題等 30%、最終レポート 40%

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

特に指定しない

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	教員採用試験合格への取組 予定 進路調査 学習進行表	合格に向けての心構え～これからの努力対策講座について 調査用紙・面談・学習進行表について
2	講話「学級集団の育て方」	学級集団についての基本的な考え方と実践事例
3	教育課題への対応 1	講話・グループディスカッション
4	合格の秘訣を探る 1	教員採用試験合格者の体験発表「私はこうして合格した」
5	合格の秘訣を探る 2	先輩の模擬授業
6	合格の秘訣を探る 3	先輩の個人面接・集団面接
7	合格の秘訣を探る 4	先輩の集団討論・グループワーク
8	合格の秘訣を探る 5	先輩の場面指導（ロールプレイング）
9	教育課題への対応 2	講話・グループディスカッション
10	教育課題への対応 3	講話・グループディスカッション
11	講話「生徒指導への対応」	生徒指導についての基本的な考え方と実践事例 中学校長の講話
12	教育課題への対応 4	講話・グループディスカッション
13	理事長講話	教員養成におけるIPUの強み
14	教育課題への対応 5	講話・グループディスカッション
15	教員採用試験に向けた取組の成果と課題レポート（試験）	教員採用試験に向けた取組の振り返り 来年度へ向けての方策レポート試験

全学共通・教養科目

科目コード	14003	区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目			
授業科目名	キャリアデザインⅡ [健康科学 科用]	担当者名	宮本 彩			○			
配当年次	3	配当学期	後期	単位数	1	授業方法	講義	卒業要件	必修

<授業の概要>

卒業後の進路を実りあるものにするためには、計画的にキャリアプランを立て、早期から準備に取り組む必要がある。進路別就職活動のスケジュールを理解するとともに、実際の現場で求められている柔道整復師のスキルやモラルを理解し、身に付けることを学修成果として求めます。

<授業の到達目標>

柔道整復師に求められる職業倫理及び、社会保障制度について学び、柔道整復師の役割を理解し、自身の目指すべき方向性を明確にする。柔道整復師の職務と誇りを育むとともに、ビジネスマナー、自己分析力、業界に対する知識を身に付ける。

<授業の方法>

必要に応じて、ゲストスピーカーをお招きして講義を進める（オンライン形式も含む）。資料の配布等はGoogle Classroomを活用する。

<準備学習等（予習・復習）>※具体的な内容及びそれに必要な時間等

予習：事前に連絡した内容を予習して授業に臨む（毎回1時間程度）復習：講話後はレポートを提出し、柔道整復師の理解を深める。（毎回1時間程度）

<卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連>

この科目はディプロマポリシー6（自律や社会性等に関する態度・指向性）と7（生涯にわたり学び続ける態度・指向性）関連付けられています。単に知識を習得・活用するだけでなく、これからの社会に対して柔道整復師がどのように活躍できるか考え、学生一人一人が社会に貢献できる柔道整復師像を確立できることを目指しています。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業意欲・態度：20%授業中の意見交換：30%授業課題・レポート提出：50%

<教科書>

なし

<参考書>

なし

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	キャリアプランの設計①	前期授業および夏季休暇の省察就職活動に向けたキャリアプランの設計
2	職業倫理及び関係法規①	健康保険制度の概要および不正請求について
3	職業倫理及び関係法規②	業務におけるリスクマネジメント
4	社会保障制度①	関連企業講話「社会保障費から読み解く本邦の社会保障制度」
5	社会保険制度②	関連企業講話「少子高齢化が進む日本で接骨院が果たすべき役割」
6	社会保障制度③	関連企業講話「老齢年金を始めとした各種年金制度の概要」
7	社会保障制度④	関連企業講話「障がい者への福祉サービスを始めとした社会福祉」
8	社会保障制度⑤	企業関連講話⑤「公的扶助（生活保護）制度」
9	グループ討議①	競技スポーツ分野で柔道整復師が活躍する方策を考える
10	グループ討議②	医療分野で柔道整復師が活躍する方策を考える
11	グループ討議③	介護・福祉分野で柔道整復師が活躍する方策を考える
12	就職セミナー①	企業数社が集まる就職セミナーに参加し、興味のある企業の説明を聞く。
13	就職セミナー②	企業数社が集まる就職セミナーに参加し、興味のある企業の方と面談する。
14	キャリアプランの設計②	春季休暇ならびに来年度の就職活動に向けたプランを設計する
15	キャリアプランの設計③	自分自身のキャリアプランを他者と共有する

## 全学共通・教養科目

科目コード	14002		区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアデザイン I [BC留学生用]		担当者名	大平 真紀子			○		
配当年次	3	配当学期	前期	単位数	1	授業方法	講義	卒業要件	必修

### <授業の概要>

卒業後の人生を実りあるものにするためには、きちんとしたキャリアプランを立て、早期から準備に取り組む必要がある。本科目では、前期は進路別の就職活動の基本的スケジュールを理解するとともに、自己理解、職業・仕事の理解を通じ自身の目指すべき方向性を明確にする。後期は、就職活動に必要なビジネスマナー、自己分析、業界研究、面接対策等について実践的に学習していく。

### <授業の到達目標>

卒業後の進路を選択し、選択した進路に進むために必要な資質や考え方、能力を獲得する。

### <授業の方法>

講義と演習を組み合わせる。業界・企業研究に関連する授業回で、グループワークを行う。面接対策に関連する授業回で、プレゼンテーションに類するものを行う。提出物はGoogle Classroomを用いて提出する。

### <準備学習等（予習・復習）> ※具体的な内容及びそれに必要な時間等

予習（各回60分程度）：課題の指定された部分を通読したうえで、分からない言葉を調べる。復習（各回80分程度）：授業で学んだことを踏まえて、自身のキャリアについて考えたり、進路決定に向けた準備を進めたりする。

### <卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連>

進路選択を取り巻く諸相やそれらにかかわる不確実性を理解したうえで、自律的な意思決定とそれにもとづく個人行動を取れるようになることを目指すものである（教養科目DP6）。グローバル化・情報化による多様な環境変化の下、高い倫理観と豊かな教養力で問題解決に向けチームワークを構築する力を身に付け、生涯にわたり学ぶ基礎をつける科目である（教養科目DP7）。

### <成績評価方法> ※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

参加態度・学習意欲30%、講義内での課題 60%、最終レポート10%。課題に対するフィードバックは講義内で、最終レポートについてはUNIVERSAL PASSPORTで行う。

### <教科書>

### <参考書>

久保田学（2018）

「留学生のための就職内定ワークブック」

日本能率協会マネジメントセンターグエン・テュアン・ズオン（2018）

「ベトナム人が日本企業に就職するための心得」

日本ベンチャー大学パブリッシング

### <授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	多様な選択肢を知る	日本就職、母国就職、進学などの選択肢の概観
2	日本で就職するということ (1)	日本の採用文化、就活スケジュール
3	日本で就職するということ (2)	留学生に対する企業側の期待と不安
4	キャリアを考える (1)	内的キャリアと外的キャリア
5	キャリアを考える (2)	キャリア・アンカー
6	自分がどういう人かを考える (1)	人生曲線、自分史
7	自分がどういう人かを考える (2)	コンピテンシー
8	自分がどうしたいかを考える (1)	未来史
9	自分がどうしたいかを考える (2)	日本との関係（つながり）
10	インターンシップ	日本のインターンシップの特徴、参加する意義、参加方法
11	業界を知る (1)	業界研究の視点、基本的な方法
12	業界を知る (2)	業界研究の実践
13	企業を知る (1)	企業研究の視点、基本的な方法
14	企業を知る (2)	企業研究の実践
15	筆記試験の重要性	適性検査、一般常識試験、論作文

## 全学共通・教養科目

科目コード	14003	区分	教養科目	実務経験のある教員等による授業科目					
授業科目名	キャリアデザインⅡ [BC留学生用]	担当者名	大平 真紀子、倉田 知秋	○					
配当年次	3	配当学期	後期	単位数	1	授業方法	講義	卒業要件	必修

### <授業の概要>

卒業後の人生を実りあるものにするためには、きちんとしたキャリアプランを立て、早期から準備に取り組む必要がある。本科目では、前期は進路別の就職活動の基本的スケジュールを理解するとともに、自己理解、職業・仕事の理解を通じ自身の目指すべき方向性を明確にする。後期は、就職活動に必要なビジネスマナー、自己分析、業界研究、面接対策等について実践的に学習していく。

### <授業の到達目標>

卒業後の進路を選択し、選択した進路に進むために必要な資質や考え方、能力を獲得する。

### <授業の方法>

講義と演習を組み合わせる。業界・企業研究に関連する授業回で、グループワークを行う。面接対策に関連する授業回で、プレゼンテーションに類するものを行う。

### <準備学習等（予習・復習）> ※具体的な内容及びそれに必要な時間等

予習（各回60分程度）：課題の指定された部分を通読したうえで、分からない言葉を調べる。| 復習（各回80分程度）：授業で学んだことを踏まえて、自身のキャリアについて考えたり、進路決定に向けた準備を進めたりする。

### <卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連>

進路選択を取り巻く諸相やそれらにかかわる不確実性を理解したうえで、自律的な意思決定とそれにもとづく個人行動を取れるようになることを目指すものである。グローバル化・情報化による多様な環境変化の下、高い倫理観と豊かな教養力で問題解決に向けチームワークを構築する力を身に付ける科目である。

### <成績評価方法> ※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

参加態度・学習意欲30%、講義内での課題 60%、最終レポート10%。| 課題に対するフィードバックは講義内で、最終レポートについてはUNIVERSAL PASSPORTで行う。

### <教科書>

### <参考書>

久保田学（2018）

「留学生のための就職内定ワークブック」

日本能率協会マネジメントセンターグエン・テュアン・ズオン（2018）

「ベトナム人が日本企業に就職するための心得」

日本ベンチャー大学パブリッシング

### <授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	前期振り返り	前期の振り返りと後期の授業概要   インターンシップや業界・企業研究などの成果の共有
2	就職活動におけるマナー (1)	基本的な身だしなみ
3	就職活動におけるマナー (2)	敬語、電話・メールの日本語表現
4	インターネットを活用した就職活動の展開	就活サイトの活用法、各種データベースの利用方法
5	企業を知る (3)	個別企業の事例に基づく企業理解 (外部講師予定)
6	業界・企業を選ぶ	業界・企業選びの方向性
7	履歴書とエントリーシート	書類提出の意味、基本的な書き方・注意点
8	日本の税制と福利厚生	給与と福利厚生、所得税
9	自己分析	自分の「これまで」と「これから」を改めて見つめ直す
10	自分のことを他人に伝える	自己PRのための日本語表現
11	面接対策 (1)	基本的な手順、よく聞かれる質問
12	面接対策 (2)	面接のロールプレイング [基本編]
13	面接対策 (3)	面接のロールプレイング [応用編]
14	在留資格について	「特定活動」資格の説明
15	まとめ	全体の総括と補足説明

## 全学共通・教養科目

科目コード	14001		区 分	教 養			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアサポート[企業]		担当者名	佐藤 典子			○		
配当年次	4	配当学期	前期	単位数	2	授業方法	講義	卒業要件	選択

### <授業の概要>

就職活動と就職後に必要とされる社会人基礎力の中から自己管理能力や対人スキルについての意識付けをして、それらのスキルを高めることを目的とする。コーチング心理学に基づいた有用なコミュニケーションスキルのうち、特に傾聴力や質問力を高める。

### <授業の到達目標>

傾聴や質問をする能力が高まることによって自己理解や他者理解が促進されて、人間関係構築のコツが掴めるようになる。授業の開始時と終了時に対人スキルのコンピテンシーを分析することで、学習成果を可視化する。

### <授業の方法>

講義、ディスカッション、コーチング・デモンストレーションの観察、3人1組での実践ワークやピアコーチングを行う。

### <準備学習等（予習・復習）>※具体的な内容及びそれに必要な時間等

該当テーマについてテキストを事前に読み、授業での実践に向けて準備する。復習を兼ねて2人1組でピア・コーチングを実施する。予習復習で1時間ほど。

### <卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連>

教養科目ディプロマポリシーの⑦生涯にわたり学び続ける態度や指向性を身に付けることと、⑧最終学年として統合的な学習経験をし創造的な思考力を身に付けることに繋がる。

### <成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

受講態度と意欲30%、課題の提出30%、最終的なスキルの習得度合い40%スキル習得についてのフィードバックは対面で実施する。

### <教科書>

CTIジャパン、重松延寿（2014年）  
マンガでやさしくわかるコーチング  
日本能率協会マネジメントセンター

### <参考書>

ローラ・ウィットワース2002年  
コーチング・バイブル  
東洋経済新報社

### <授業計画>

回	テーマ	授 業 内 容
1	オリエンテーション	授業概要や評価方法の説明とチーム作りのための演習など
2	コーチングとは	コーチングの定義と特性(心の在り方、スキル)を概念的に理解する
3	他者をコーチングする前にまずは自分を知る	パーソナルスタイルやMBTI診断などのツールを使って、自己理解を深める
4	コーチングの基礎スキル (1)	傾聴、質問、承認などの効用を概念的に理解する
5	コーチングの基礎スキル (2)	基礎スキルを演習を繰り返すことで体得して行く
6	コーチングモデルの紹介	コーチングの会話モデルの中で最も使われているGROWモデルを紹介して、演習をする
7	モチベーションについて	モチベーションに関する理論の紹介と、各人のモチベーションを高めるための演習をする
8	中間の振り返り	ここまでの学習の振り返りと、演習を継続する
9	リーダーシップについて	リーダーとマネジャーの違いや、コーチ型リーダーが組織にとって有益であることを概念的に理解する
10	コーチング実践	基礎スキルやモデルの習得を演習とフィードバックを継続することで加速する
11	リレーコーチング	履修者間での学びを深めるために全員がリレーする形でコーチングを実施する
12	コーチング実践の発表	習得したスキルやマインドセットをどのように実践したかを各自が発表する
13	コーチング技術の診断 (1)	習得したスキルを全体で診断、フィードバックを与え合う
14	コーチング技術の診断 (2)	習得したスキルを全体で診断、フィードバックを与え合う
15	まとめ	学習した事柄や体得したスキルやマインドについて、全体で振り返る

## 全学共通・教養科目

科目コード	14001	区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目			
授業科目名	キャリアサポート[小中高]	担当者名	千葉 照久、中野 隆重、 坂根 清貴、太田 昌孝、 赤松 敏之、奥山 優、 延原 まどか、安井 正郎			○			
配当年次	4	配当学期	前期	単位数	2	授業方法	講義	卒業要件	選択

### <授業の概要>

この授業の目的は、キャリアデザイン等で学んだ教師としての基礎知識をもとに、教員採用試験合格に向け、より実践的な資質・能力を身につけることである。その目的を達成するために、教員採用試験に向けた心構えや具体的な攻略法について講義・演習を中心に、より実践に即した形で指導する。学習成果については、論理的思考力、表現力、協働性、教職への熱意などについて評価する。

### <授業の到達目標>

・教師としての基礎知識や学校現場の抱える課題を理解することができる。・教員採用試験の傾向と対策を理解し、志望する自治体に応じた面接、論作文、模擬授業等の実践力を高めることができる。・教師のやりがい、心構え等を理解し、自らの理想とする教師像を明確にすることができる。

### <授業の方法>

・講話を通して、課題の提示や説明・課題についてのグループ協議・課題についての演習・レポートの提出

### <準備学習等（予習・復習）>※具体的な内容及びそれに必要な時間等

・予習：学習予定表に沿って、次回の内容にかかわる関連資料の取捨等の事前学習をし、課題意識をもって授業に臨む。（1時間程度）  
・復習：各回の講座の内容について、個人またはグループでの自主学習において復習し、講義毎のワークシートの追加記入等のノート整理を行う。また、グループで模擬授業、面接等の練習を行う。（30分から1時間程度）

### <卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連>

この科目は、教養科目ディプロマポリシー⑦、⑧と関連付けられている。「高い専門性と実践力のある教師」を育成するための教養科目であり、教員採用試験を間近に控える4年生を対象として、高い倫理観と規範意識、自己コントロール力、教師としての職責を果たそうとする真摯な姿勢(DP6)、子どもの未来に対する強い使命感と責任感を持ち、教師としての成長をめざした生涯学習力(DP7)を育成する科目である。

### <成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

受講態度 30%、講義内での課題等 30%、最終レポート 40%

### <教科書>

### <参考書>

### <授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	キャリアサポートとは学習のルール・予定	授業の概要と今後4か月間の過ごし方学習進行表の活用対策講座等の予定（ノートの活用）
2	教員採用試験の事務手続き	募集要項の取り寄せ方提出書類の記入方法願書、履歴書の記入内容の確認立ち振る舞い、服装とあいさつ
3	学長講話	進路に向けてのメッセージ
4	自己アピールの書き方学習進行表	自己アピール文を書く学習進行表をもとにした情報交換
5	個人・集団面接の攻略法1	個人・集団面接の回答の仕方自分の考えをわかりやすく伝える手立て
6	集団討論等の攻略法1	集団討論・グループ活動の実施形態複数の受験者との討論の進め方過去問の分析※形態によって自治体別に分かれて演習
7	模擬授業の攻略法1	模擬授業の概要、先輩の模擬授業（VTR視聴）学習指導案の書き方と模擬授業の実際
8	教育現場の課題1「インクルーシブ教育」	講話グループに分かれて集団討論
9	教育現場の課題2「主体的、対話的で深い学び」	講話グループに分かれての集団討論
10	受験に際しての心構え個人面接の攻略法2	一次試験（2次試験）に臨む心構え聞き手を意識した回答の仕方IPUに関する質問への回答の仕方
11	論作文の攻略法	各自自治体別テーマ
12	場面指導の攻略法	場面指導の実際現場に起こりうる場面での対処法
13	集団討論等の攻略法2	評価の観点を意識した面接、討論、集団活動の仕方上手な展開の仕方
14	模擬授業の攻略法2	効果的な模擬授業の実際
15	キャリアサポートで学んだこと教職への決意	教員採用試験への心構えレポートの作成

全学共通・教養科目

科目コード	14001	区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目			
授業科目名	キャリアサポート[幼保]	担当者名	檜寄 日佳			○			
配当年次	4	配当学期	前期	単位数	2	授業方法	講義	卒業要件	選択

<授業の概要>

幼稚園、保育所、認定こども園、施設において保育職を志望する学生を対象とした選択科目である。この講義では保育者としての基礎知識と採用試験合格に向けた具体的な指導をする。

<授業の到達目標>

1 保育者としての資質や能力を高めることで、保育者として働くことへ意思を明確にする。2 保育職に進むために必要な論文、面接、実技試験などの技術を高め、志望する自治体や法人に合格する。

<授業の方法>

- ・講話を通して、課題の提示や説明・課題についてのグループワーク・課題についての演習

<準備学習等（予習・復習）>※具体的な内容及びそれに必要な時間等

・予習：学習予定表に沿って、次回の内容に関する関連資料や課題を読み、授業の準備をする。（30分程度）・復習：各回の講座の内容について、個人またはグループで復習をし、講義ごとのワークシートの追加記入や復習をする。（60分程度）

<卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連>

この科目は本学の教育目標「豊かな人間性と個性を有した実践力のある実践的職業人・国際人の育成」と関連している。教養科目ディプロマポリシー7（生涯にわたり学び続ける態度・指向性）と8（総合的な学習経験と創造的な思考力）に対応している。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

学習態度15%、授業課題30%、グループ貢献度15%、小テスト40%

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

特に指定しない

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	授業の目的とその概要について
2	採用試験までの計画	受験自治体・志望法人調べと合格までの計画
3	採用試験の事務手続き（1）	基本的な願書の書き方の講義と演習
4	採用試験の事務手続き（2）	自治体・法人ごとの願書様式と書き方のポイント
5	個人面接、集団面接（1）	面接マナーの復習と面接ノートの作成
6	個人面接、集団面接（2）	「自分を知ってもらうための面接」グループ演習
7	個人面接、集団面接（3）	「保育の専門性を問われる面接」グループ演習
8	保育者・施設職員のやりがいと合格体験記(1)	先輩保育士の講話（卒業生公立園先輩）
9	保育者・施設職員のやりがいと合格体験記(2)	先輩保育士の講話（卒業生私立園先輩）
10	保育者・施設職員のやりがいと合格体験記(3)	先輩保育士の講話（卒業生福祉施設の先輩）
11	論作文（1）	自治体・法人別出題されやすい課題の分析と演習
12	保育実技	自治体・法人別出題されやすい実技テーマの分析と演習
13	論作文（2）	保育の今日的課題の分析と演習
14	集団討論	集団討論とは、グループ演習
15	学びのまとめ	学びのまとめと今後の課題、就職までの準備

## 全学共通・教養科目

科目コード	14001		区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアサポート[公務員]		担当者名	横内 浩平			○		
配当年次	4	配当学期	前期	単位数	2	授業方法	講義	卒業要件	選択

### <授業の概要>

公務員を目指す学生がキャリア（職業人生）を考えていくには、さまざまな出題科目について十分理解しておく必要がある。この講義では、今年度の公務員試験に必要な知識のうち、次の内容を身に付けることを目的とする。1. 点数を伸ばすために必要な「数学」2. 直前期に必要な「問題演習」3. 二次試験対策のうち主に「集団討論」「集団面接」

### <授業の到達目標>

1. 公務員への理解を深め、公務員として働くことの意義を認識することができるようになる。2. 採用試験における「頻出分野」の理解ができるようになる。3. 今年度の公務員試験に必要な知識を養成し、採用に向けての準備を怠らない習慣を身に付けている。

### <授業の方法>

1. 講義（配布プリントを使用し授業、問題演習を進める）2. 振り返り（授業の内容に関するまとめ）※授業の一部についてはインターネット上のサイトを活用して解説します。

### <準備学習等（予習・復習）>※具体的な内容及びそれに必要な時間等

予習：翌週の授業内容に関するキーワードの下調べ（30分程度）復習：次回講義までに、該当する問題を解けるようにしておく（90分以上）

### <卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連>

この授業は、教養科目のディプロマポリシー7（生涯にわたり学び続ける態度・指向性）と関連付けられている。3年次より始まっている「公務員対策講座」で基礎学力を身につけた4年生に対し、今年度の公務員試験に向けて学力伸ばすことを目的としている。

### <成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

課題提出及びミニテスト70% 授業に臨む態度等30%

### <教科書>

特に指定なし

### <参考書>

東京アカデミー（2020年12月1日発行）

オープンセサミシリーズ 国家公務員・地方初級④数学・理科〔第〔2022版〕〕

七賢出版

### <授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	履修ガイダンス	講義の進め方について説明する。
2	数学 (1)	数と式
3	数学 (2)	二次関数
4	数学 (3)	二次方程式
5	数学 (4)	その他の方程式
6	数学 (5)	図形と方程式
7	問題演習 (1)	政治
8	問題演習 (2)	経済
9	問題演習 (3)	生物
10	問題演習 (4)	地学
11	問題演習 (5)	判断推理・数的推理
12	二次試験対策 (1)	集団討論・集団面接等 (1)
13	二次試験対策 (2)	集団討論・集団面接等 (2)
14	二次試験対策 (3)	集団討論・集団面接等 (3)
15	まとめ	重要事項の確認・試験の注意など

全学共通・教養科目

科目コード	14001		区分	教養			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアサポート[健康科学科]		担当者名	河野 儀久			○		
配当年次	4	配当学期	前期	単位数	2	授業方法	講義	卒業要件	選択

<授業の概要>

このクラスは健康科学科に在籍する学生が対象である。接骨院、整形外科クリニックをはじめとした医療機関、フィットネスクラブ、介護事業所などへの就職を目指す学生の就職活動における指導を実施する。

<授業の到達目標>

日本で就職を希望する留学生にエントリーシート記入の方法、面接対策、採用試験対策についてのサポートと指導をおこない、学生の希望に応じた企業・団体への内定を獲得できることを目標とする。また出身国に戻り就職を希望する留学生に対しては、より多くの情報を集め学生と個別に相談しながら、希望に沿った企業や団体への就職獲得を目指す。

<授業の方法>

講義、グループワーク、演習、面談の形で実施する。

<準備学習等（予習・復習）>※具体的な内容及びそれに必要な時間等

前回講義で学習した内容を見直して復習し、授業終了時に示す内容等を予習する。予習復習にはHPで集めた情報の中より有用なものを抽出し、レポートはword、excel、powerpointを用いDropboxを用いて提出する。

<卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連>

この科目は、教養科目ディプロマポリシー7（生涯にわたり学び続ける態度・指向性）と関連付けられており、医療人として現代社会に果たす役割を理解し、様々な立場の人々と良好に職務を遂行できるコミュニケーション能力を身に付け、感性豊かな人間性と高い医業倫理を備え、柔道整復学を中心として、健康科学、体育学、スポーツ医科学の学際的領域で他者と協調できるスキルを身に付ける。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

講義内の討論参加度合 30%、講義内での課題遂行度合 30%、最終レポート 40%

<教科書>

特に指定しない

<参考書>

特に指定しない

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	授業の目的とその概要について
2	自己分析	就職先となる医療・福祉業界の特徴を知る。
3	就職するには(1)	自分のアピール方法を知る
4	就職するには(2)	就職活動の流れと準備
5	就職するには(3)	企業・業界を知る
6	就職するには(4)	情報収集の方法
7	就職するには(5)	希望企業・業界の決定
8	就職活動サポート(1)	エントリーシートの書き方・履歴書の書き方(1)
9	就職活動サポート(2)	エントリーシートの書き方・履歴書の書き方(2)
10	就職活動サポート(3)	筆記試験・適性検査対策(1)
11	就職活動サポート(4)	筆記試験・適性検査対策(2)
12	就職活動サポート(5)	個人面接・集団面接対策
13	就職活動サポート(6)	個人面接・集団面接練習(1)
14	就職活動サポート(7)	個人面接・集団面接練習(2)
15	まとめ	就職活動を振り返って

科目コード	14001		区分	教養科目			実務経験のある教員等による授業科目		
授業科目名	キャリアサポート[BR留学生用]		担当者名	大平 真紀子			○		
配当年次	4	配当学期	前期	単位数	2	授業方法	講義	卒業要件	選択

<授業の概要>

本科目では、キャリアデザインで取り組んだ内容をもとに、日本の会社で働くために必要な資質、知識やマナーをさらに向上させることを目指す。日本で就労するためには日本人の考え方、国との働き方の違い、法規に関する問題などを知り、日本社会の中で共生していく必要がある。そのための知識の養成や心構えについて学ぶ。

<授業の到達目標>

卒業後の進路を選択し、選択した進路に進むために必要な資質や考え方、能力を獲得する。 ※留学生が卒業後に「特定活動」の在留資格を得るためには、本科目の単位を修得する必要があるので留意すること。

<授業の方法>

講義と演習を組み合わせて実施する。面接対策に関連する授業回で、プレゼンテーションに類するものを行う。提出物はGoogle Classroomを用いて提出することもある。

<準備学習等（予習・復習）>※具体的な内容及びそれに必要な時間等

前回講義で学習した内容を見直して復習し、授業終了時に示す内容等を予習する。（予習・復習とも30分程度）

<卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連>

卒業後の進路選択という一時点での意思決定に向き合うことだけに留まるのではなく、生涯を通じたキャリアの発達や 開発を自律的に行うための態度や考え方を身につけることを目指すものである。主体性・積極性を持って学習し、グローバルな課題解決の一端を担い、国際社会に貢献し、同時に生涯学習力や統合的な経験と創造的思考力を身に付ける科目である（教養科目DP7、8）。

<成績評価方法>※課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

参加態度・学習意欲30%、講義内での課題 60%、最終レポート10%。課題に対するフィードバックは講義内で、最終レポートについてはUNIVERSAL PASSPORTで行う。

<教科書>

<参考書>

<授業計画>

回	テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	授業概要と評価方法に関する説明
2	就職活動の中間報告	各自の就職活動の「これまで」と「これから」
3	キャリアについて考える	内的キャリアと外的キャリア、キャリア・アンカー
4	自己分析 (1)	人生曲線、自分史
5	自己分析 (2)	自己PRのための日本語表現
6	業界・企業研究 (1)	業界・企業を捉える多様な視点、情報収集の方法
7	業界・企業研究 (2)	選択肢を広げるための業界・企業研究
8	自己分析 (3)	業界・企業選択に向けた価値観の模索
9	業界・企業研究 (3)	価値観にもとづく業界・企業選択
10	書類の作成	読み手に伝わる日本語表現とは
11	就職活動におけるマナー	身だしなみ、電話・メール・対面での日本語表現
12	面接対策 (1)	基本的な手順、聞かれる質問
13	面接対策 (2)	個人面接のロールプレイング
14	面接対策 (3)	集団面接のロールプレイング
15	まとめ	就職活動の総括とこれからの学びに向けて